



記念ウォーク出発前に「頑張るぞ!」「オー!」(伊方中)

ふれあいいかた

生涯学習だより

自覚・立志・健康
～町内中学校で少年式～



瀬戸中学校は、記念行事を1月20日に実施しました。佐田岬灯台駐車場から瀬戸中学校までの34kmの記念ウォークに、生徒20名と保護者、教職員29名が挑戦しました。

3月号

平成24年3月1日発行 No.83

■発行 伊方町教育委員会
■編集 教育委員会事務局 生涯学習室

思いやりの心をもって、責任ある行動を!!

～ 少年式 ～



寒波が到来した2月3日、町内の各中学校で少年式が行われました。この少年式は、昔の「元服」という大人になるための儀式を受け継いだもので、県内では、大人への第一歩になる14歳という年齢を祝福するために、「立春の日」を「少年の日」と定め行われています。今年、少年式を迎える町内の中学生2年生は、伊方中学校40名、瀬戸中学校20名、三崎中学校26名です。今年、伊方中学校の式典を取材にかけました。

それに対し、2年生39名(1名欠席)が決意発表を行いました。「積極的に行動します」「行動に責任をもちます」「人の役に立ちます」などこの日に立てた志を一人ひとりが堂々と発表しました。

式典の後に、昨年まで別日程で実施していた記念行事を行いました。今年、自分たちが生まれ育った伊方地域を歩く全長28・8kmの記念ウォークです。生徒と保護者、教職員あわせて62名が10時20分に中学校を出発。第一チェックポイントである有寿来漁協を目指



一人ひとりが決意発表

しました。冷たい風が吹く中、グループで助け合いながら進みました。鳥津集会所で昼食休憩をとり、亀ヶ池温泉、町見公民館、レッドウイングパークを経由し中学校へ帰ってきます。予定時間の午後5時には、全員が無事歩きとおすことが出来ました。どの顔にもやり遂げた充実感があり、とてもいい笑顔でいっぱいでした。



なぜ? どうして? 不思議な体験 マジックショー

～ 成人講座 ～

1月22日、生涯学習センターにおいて成人講座を開催しました。この成人講座は、大厄である33歳の女性、42歳の男性と還暦である61歳の男女を対象に実施している事業です。今年、例年より少なめの53名の参加で行いました。

厄払い神事、記念撮影、開会行事の後、これまでは講演会を実施していましたが、今年は趣向を凝らしてマジックショーを実施しました。県内を中心に活躍する長身マジシャン、ヒガール氏を迎えてのマジックショーです。音楽にあわせて入場してきたヒガール氏。手始めに、スケッチブックに書いたボーリングの絵が本物に変わるマジックを披露。その後、燃やした紙が千円札になったり、紙コップに入れた水が消えたりと一瞬のうちに繰り出されるマジックに、観客のみなさんはタネが気になってしょうがない様子。その中で、一つだけ両手交差のマジックの種明かしをしていただきました。ほかに、観客が参加するマジックも披露していただきました。2つに並べたいすの上に板をかけ、その上に観客が横になります。



両手交差のマジックの種明かしをおそわる参加者のみなさん

台になっていてる2つのいすのうち、一つを取っても観客は浮いたまま。目の前で起こる不思議な体験に、参加者のみなさんはしばらくの間童心に戻って真剣に見ていました。

このあとの懇親会では、久しぶりに会う同級生と話はずみ、楽しいひと時を過ごしていただきました。



台がなくなったのにあら不思議! 浮いています



1年で首位の座を奪還！ 湊浦チーム！！

～伊方駅伝大会～

晴天に恵まれた2月12日(日)、24チームが参加して伊方駅伝大会を開催しました。開会式では、伊方中学校バスケット部Aチームの古田康浩くんが選手宣誓を行いました。

この大会は、3つの部門で争われ1部は、地域単位の年齢別10名で構成するチーム。2部は、小学校5年生以上の愛好者チームで男子は5名、女子は7名で構成します。コースは、田之浦集会所横から大浜折り返して伊方中学校ゴールの18・94km。

午前9時30分、田之浦集会所横を一齐にスタート。一本のタスキに思いをつなげてゴールまでつなぎます。

午前10時38分、湊浦チームが伊方中学校に入ってきました。一昨年まで6年連続優勝していた湊浦チームが、昨年は34秒差で大浜チームに破れましたが、今年は2位に3分以上の差をつけて優勝しました。また、個人記録では第39回1部2区大会タイ記録、第40回1部2区大会新記録を出している大浜チームの矢野吉男さんが、1部7区で新記録を出す快走でした。



2部男子優勝の伊方サービスAの大谷さん

○総合成績表

部	順位	チーム名	記録
1部	優勝	湊 浦	1:08:20
	2位	大 浜	1:12:57
	3位	中 浦	1:14:39
2部男子	優勝	伊方サービスチームA	1:09:05
	2位	伊方中野球部A	1:14:28
	3位	伊方中バスケット部A	1:16:49
2部女子	優勝	伊方中バスケット部A	1:23:27
	2位	伊方中バレー部B	1:28:06
	3位	伊方中バスケット部B	1:29:35



2部女子優勝の伊方中バスケット部A



1部優勝 湊浦チームのみなさん

伊方町女性のつどいを開催

～伊方町婦人会～

1月15日(日)、婦人会や各女性団体の指導者約70名が一堂に会し、伊方町女性のつどいが開催されました。

この事業は、「健康で明るくいキキとした、心豊かな住みよいまちづくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、町婦人会(渡辺紀代会会長)と町教育委員会が共催し、毎年行われています。

今年度は、八幡浜施設事務組合消防署から第2分署長・牧野賢治さんと消防本部課長補佐・上田忠さんを講師に迎え、「防災について」と題して、講演会を実施しました。

まず、上田さんの講演では、白らが参加し体験した、東日本大震災被災地での支援活動について、現地でのスライドを見ながら話していただきました。

続いて牧野さんの講演では、伊方町の防災対策や津波対策など、とても解りやすく、説明していただきました。

講演後、伊方スポーツセンター健康運動指導士の浅岡良美さんによる健康講座を行い、参加した



八幡浜消防署牧野第2分署長の講演



参加者全員が真剣に取り組んだリラックス体操

皆さんは、イスに座ったままでのリラックス体操をほぐすなど、身体のケアを行いました。3時間余りの講演・講座でしたが、皆さん熱心に受講され、今年も会場内は、女性パワーの熱気であふれていました。

二見公民館まつり開催！！

町見公民館

今年で28回目を迎える二見公民館まつりが1月29日(日)、二見小学校体育館を主会場に開催されました。

当日は、早朝より八幡浜漁協町見支所女性部による新鮮なイワシ等の「海の幸即売」と、亀ヶ池生活研究協議会の「ふるさとの味即売」があり、大変好評でした。

作品展示コーナーでは、保育所園児と保護者の手芸作品、小・中学生の書道や絵画、各団体の手芸、生け花、短歌、俳句、絵手紙等の作品が体育館半分のスペースいっぱいに表示され、作品出展をされた方からは、作品作りで工夫された事について、観覧されている方に話されている場面もありました。

午後からの「芸能発表のついで」ではお一人の飛び入りを含む14のプログラムで舞踊・歌謡が披露されました。出演されたみなさんは日ごろの練習の成果を存分に発揮され、最後はもちまきで、和やかな雰囲気にも包まれつつ、まつりはお開きとなりました。出展、即売、出演および協力してくださいましたみなさん、ありがとうございました。



2月4日(土)、四国最大級の小田スキー場にて、瀬戸公民館恒例行事である雪山スキー教室を開催。瀬戸地域の、小学5・6年生17名が参加しました。

当日は、午前6時30分の早朝出発にもかかわらず、居眠りする児童もなく元気あふれる道中でした。内子を過ぎたあたりから窓の外は雪化粧に変わり、車道の積雪による凍結のためチェーンを装着することになりました。予定より、少し早い場所からのチェーン走行となったため、20分遅れての到着になり急いで準備をし、グレンデへ向かいました。

小田スキー場から見える山々は、瀬戸地域にはない幻想的で壮大な世界が広がっていました。その中で2班に分かれて、インストラクターから基本をみっちり学んだ後、早速リフトに乗りファミリーコースの頂上からグレンデを滑り降りていました。子どもたちの、技術を吸収する早さには驚かされました。



雪山スキー教室

瀬戸公民館

昼食は、恒例のおかわり自由のカレーです。例年、残ってしまう?はずのカレーもご飯も空になり、少しもの足りなかつたようです。昼休みの休憩もそこそこに、食事が終わると次々とグレンデに向かい、雪山を満喫していました。午後からの2時間はあっといいう間に過ぎていきましたが、怪我もなく初めての児童も全員が滑れるようになっていました。

少しばかりの反省事項はありましたが、子どもたちの満面の笑みのため次回開催に向け更なる計画に取り組んでいきます。参加の皆さん、お疲れ様でした。

伊方町では、夜間照明の設置とともに各地域でナイターのソフトボールリーグ戦が盛んに行われておりました。しかし、年々愛好者の高齢化や若者の加入が少なくなり下火となってきています。三崎地域では盛んな一時期に比べチーム数は少なくなってきましたが、現在も三崎ソフトボール協会(会長＝岡本 健さん)が毎年主体的に活発な活動を続けています。

チーム数は12チームで、5月からの前期戦、10月からの後期戦のリーグ戦を開催し会員の体力の向上と相互の親睦を深めています。また、リーグ戦の他には夏季体育大会ソフトボールの部の運営やスポーツ少年団の育成。そして文化祭にはチャリティーソフトが行われ、特に今年度は東日本大震災の義援金にと各チームからの募金を社会福祉協議会へ寄贈するなど社会貢献にも努めています。

ナイター戦が始まると会場の三崎小中学校グラウンドからは、好プレー珍プレーに歓喜の声が響いてきます。興味のある方は、是非参加してみたいかがでしょうか。

スポーツに親しみ地域社会に貢献

～ 三崎ソフトボール協会 ～

三崎公民館



夏季体育大会での1コマ



チャリティーソフトで募金をする三崎ソフトボール協会会長 岡本健さん(写真右)

環境教室 & 青年学級

中央公民館



1月30日(月)に中央公民館主催、原子力広報センター共催で環境教室を開催しました。参加人数が過去最大数の57名だったので大型バス2台で行きました。

まずはじめに、四国電力(株)原子力保安研修所に行き、運転訓練の様子や実際に発電所にある機械などの説明を受けました。次に風食会場の「ローズハウス」に行き、バイキングを楽しみました。風からは愛媛体験型環境学習センター(エコハウス)に行きました。少しお話を聞いた後に、エコハウス内で行う探検クイズに取りかか

1月29日(日)に青年学級で松山城と椿さんに行ってきました。この日は、とても良い天気で絶好の見学日和でした。

はじめにエミフルに行き、買い物をした後、松山東急インホテルでランチバイキングを楽しみました。

風からは、リフトやロープウェイに乗り松山城に行きました。頂上からは松山の街が一望でき、とても綺麗でした。

最後に椿さんに行ったのですが、今年は日曜日はいじまりで、初日の風か

りました。今までお話ばかり聞いていたからなのか、体を動かして探検クイズはとても楽しそうでもんな競い合って答えを探していました。

最後は、みんなの最大のお楽しみ「エミフル散策」。少人数で班に分かれて行動したのですが、それぞれ、アイスを食べたりドーナツを買ったり、ゲームをしたりと楽しく過ごしていました。

今回、環境について勉強したことを少しでも子どもたちが実行してくれたら幸いです。



らということもあり凄い人でした。中に入るまでに混雑で時間がかかりましたが、各々お願いをしして帰路につきました。参加人数は少なかったですが、とても楽しい一日になりました。





学校通信



おりづるの旅プロジェクト〜被災地との絆〜

三崎中学校

あれから1年が経つことになっている。

震災直後、生徒会が主体となり義援金や応援メッセージを送ったことが始まりだった。初夏6月、気仙沼市立大谷中学校の生徒から手紙が届いた。津波の生々しい事実とたくましく生きていく様子、そしてお礼の言葉がつけられていた。同じ中学生が懸命に生きている。今、自分に何ができるか、を問う日々、「おりづるの旅プロジェクト」が立ち上がった。その取組として、全校生徒と地域との連携でサツマイモを送ったり、定期的に折り鶴や応援メッセージを送ったりしている。また、支援の輪が広がることをねらい、それらの活動を文化祭で伝えたり、新聞へ投稿したりしている。

その後、新聞記事を見た地域出身の双子の歌手「サスケ」さんが、自分たちの支援と重なりを感じ、投稿内容をともに歌を作ってくれた。自分たちの想いがつまったその歌は、やさしくて、力強いものだった。

11月に、大谷中学校から収穫された新米が届いた。津波により土砂や瓦礫が散乱した田んぼを整え、復興への願いをこめて育てられた大谷っ子米。希望に満ちあふれた米を手にし、勇気がわいてきた。

大谷中学校との交流をお互いにお互いが感謝の心でつながった気がする。今後さらにつながった糸を太くし、絆を強くしていきたい。



大谷中学校への折り鶴制作

「君の笑顔に会いたくて」

作詞 三崎中生徒 サスケ
作曲 サスケ

遠く遠く離れた
顔も名前も知らない友よ
僕らに出来ることは
忘れないこと 折ること
君の笑顔に会いたくて
お昼休みに
みんなで心をこめて
鶴を折りました
翔んで行け 翔んで行け
折り鶴よ この海を越えて
雨にも負けず
風にも負けず 東の空へ

学芸会

三机小学校

1月29日(日)に学芸会を行いました。1年生は物語を、2・5年生は物語をアレンジして、3・4年生は総合的な学習の時間で取り上げた地域の歴史をもとに、6年生は震災を取り上げ、劇をしました。児童数が減ったため何役もこなす児童がいたり、背景や大小道具を作ったりと、フル回転で練習や準備に取り組みました。中でも、「感動した!」「泣かせてもらった!」と評判だったのが、6年生の劇、『明日に向かって』です。

東北地方を襲い、たくさんの方の命と多くの夢や幸せを奪った大地震と大津波。被災された方々の悲しみは、想像を絶するものがあると思います。しかし、それを乗り越え懸命に生きる姿、なんとか被災者の力になろうと考え行動する姿を、6年生が熱演しました。

住民の避難を第一に考え、大津波が近づく中、必死でマイク放送を続けた遠藤さん。母と生まれてくるはずだった妹を亡くしながら、前を向き明るく生きる北川くん。震災2週間目でオープンした店長の、「不安な顔を見せず、おもてなしの気持ちでお客様を安心させて下さい。」という朝礼での話。「コロコロミックスを買えなくてもいいから日本を守りたい。」



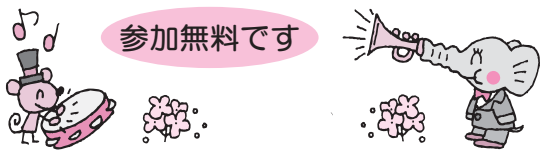
「立ち上げられ、日本!」の合い言葉が、強く心に響いた学芸会でした。

♪♪♪ いかたおんがくひろば ♪♪♪

赤ちゃんからお年寄りまでみんなで育みながら、楽しいひとときを一緒に過ごしてみませんか？

日 時： 3月29日(木) 15:00~16:00

場 所： 中央公民館 3階 和室



参加無料です

✿ いかたおえかきひろば

この春も、城川へ「かまぼこ板の絵」展覧会の作品を届けよう!! 友だちといっしょに絵をかきませんか?!

日 時： 4/3(火)・4(水)・5(木)の3日間
9:30~11:45 13:00~16:00

場 所： 中央公民館 3階 第1研修室

対 象 者： 新小学1年生から参加できます

募 集 人 員： 午前20名 午後20名(先着順)

準 備 物： かまぼこ板2~3枚

参加費用： 100円(おやつ代)

【お問い合わせ先】

伊方町中央公民館 電話 38-1020

見遊館より

割りばしライフルを作っちゃおう!

3月17日(土)午後2時から、割りばしライフルを作っちゃおう!

参加される方は当日時間までに、3階見遊館にお越し下さい。

参加費： 無料



映画上映会のご案内

3月10日(土)、3階見遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。

場 所 見遊館内 集会室

作 品 名 ケロロ軍曹

上映時間 1回目 10:00~11:17

2回目 15:00~16:17



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内見遊館 38-0211

(内線856)

ライフアップ講座のご案内(第5回)

日頃の運動不足を感じていませんか? ストレスを溜めていませんか? みんなで楽しく身体を動かし、心地良い汗をかきませんか?



日 時 3月14日(水) 18:30~20:00

場 所 伊方スポーツセンター 3階 アリーナ

内 容 「ニュースポーツを楽しもう!」

「ソフトローンボウルス」(室内でのペタンク?)と「KIN-BALL(キンボール)」(直径122cm、重さ約1kgの大玉を使った楽しいゲーム)を予定しています。

講 師 田 丸 与七郎 先生

(伊方町スポーツ推進委員会委員長)

定 員 20名程度

受講料 無料

持参品 運動のできる服装

水、お茶、スポーツドリンクなど

申 込 3月7日(水)までに住所・氏名・電話番号を生涯学習室へご連絡ください。

伊方町教育委員会事務局生涯学習室

電話38-2661 FAX38-1179

伊方スポーツセンターをより

水中ウォーキング教室のご案内

ただ歩くだけじゃつまらない! 腰痛、肩こり予防や、二の腕、ウエスト、太もも、お尻シェイプなどに効果的なウォーキングをご紹介します。また、リラクゼーション効果のある、浮きボールも使用します。

日 時： 3月2日・9日(第1、2金曜日)
10:00~10:40

対象者： 一般成人男女

受講料： 200円/(1回) 施設使用料のみ

持ち物： 水泳道具(水着・帽子・タオルなど)

※無料で帽子の貸出も行っています。



ストレッチボールの目

日常生活でコリ固まった身体をほぐしませんか? ストレッチボール使用後には多くのお客様が、「肩、腰、背中が緩み、リラックス出来た」等の感想を頂いています。

日 時： 3月16日(金曜日) 19:30~20:00
3月23日(金曜日) 10:00~10:30

対象者： 一般成人男女

受講料： 200円/(1回) 施設使用料のみ

持ち物： 動きやすい服装

<注意> 妊娠中、骨粗鬆症、背骨、骨盤に疾患のある方、その他医師に運動を止められている方はご遠慮ください。

この他、様々な運動教室を行っていますので、かわいいことは、下記へお問い合わせください。

伊方スポーツセンター 電話38-1100

38-0776



図書館だより



3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	⑳㉑
25	26	27	28	29	30	31

○…おはなし会
 ■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
 - 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日
 - 瀬戸・三崎地域の方へ
瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。
- 伊方町立図書館** (伊方町生涯学習センター2階)
 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地
 TEL(0894)38-0607

新着図書

《一般書》



《内容紹介》

結婚を控えた娘が知った両親の真実、愛犬を亡くした男の悲哀、義母の介護を続ける主婦の本音…。毎日を懸命に生きている人々の日常を丁寧にすくい取った、慈愛あふれる8つの絆の物語。

- **ココロのつづき** 森 浩美 著
 - 週末は家族 / 桂 望実 著
 - 東京ミステリー / 西村 京太郎 著
 - 酒田さ行くさげ / 宇江佐 真理 著
 - スイングアウト・ブラザーズ / 石田 衣良 著
 - コーヒーブルース / 小路 幸也 著
 - 羅針 / 楡 周平 著
 - 野蛮人の図書館 / 佐藤 優 著
 - ゲゲゲの老境三昧 / 水木 しげる 著
 - アウシュビッツを一人で生き抜いた少年
トーマス・バーゲンソール 著
 - いのちの理由 / さだ まさし 著
 - ほうらいの海翡翠 / 桑原 水菜 著
 - 小説ロボジー / 矢口 史靖 著
- ほか

《児童書》



《内容紹介》

きれいなピーマンをだれかわりに食べてくれないかなと、りょうたくんが思っていると、小さなりょうたくんがあらわれ、ぜんぶ食べてくれました。ところが…。

- **たべてあげる** ふくべあきひろ ぶん、おおのこうへい え
 - ぶらぶらどうぶつえん / 井上洋介 えとぶん
 - ちいさなちいさなおかしのまち / さかいさちえ 作
 - おばけのパケロンおばけとともだちになりたい!
 / もとした いづみ 作
 - ティモシーとサラはなやさんからのてがみ
 / 芭蕉 みどり 作・絵
 - かいけつゾロリはなよめとゾロリじょう / 原 ゆたか さく
 - 星どろぼう / アンドレア・ディノト ぶん、
アーノルド・ローベル え
 - ルルとララのホットケーキ / あんびる やすこ 作
 - トモダチックリの守り人 / 吉富 多美作 作
 - リンデ / ととき ありえ 作
 - 都会(まち)のトム&ソーヤ9 / はやみね かおる 著
- ほか

新しく購入した本は、図書館ホームページからご覧いただけます。URL: <http://library.town.ikata.ehime.jp>

第146回

芥川賞・直木賞が決定しました。

芥川賞は円城塔さんの『道化師の蝶』と田中慎弥さんの『共喰い』、直木賞は葉室 麟さんの『蝸ノ記』が授賞作に決定しました。三作品とも図書館に所蔵しています。また、カウンター横では「2012年本屋大賞」のノミネート作品を紹介しておりますので、こちらもぜひご覧下さい。

ピップスおはなし会のご案内

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：10日(土)・24日(土) 午後1時30分～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対象者：未就学児童および親子
 小学校低学年児童



絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

佐田岬半島の自然 スライド上映会

「長いものに巻かれる～
つる植物の不思議」

3月28日(水) 19時～

入場無料

◆ 今月のきょうどかん ◆

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習室
開館時間 9:30～16:30
休館 月曜日ほか

2012年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■—おやすみ □—夜スライド上映

春の準備できました♪ 今年も御殿雛お目見え



町見郷土館から

2月12日、佐田岬みつけ隊のみんなで町見郷土館ロビーに御殿雛を飾りました(4月いっぱいまで展示)。今年も地元の方寄贈による戦前と戦後の豪華御殿雛が揃い踏み!この華やかさと美しさは実際に館に足を運んでじかに目で見てみてください♪お楽しみに。

佐田岬民俗ノート

82

大久の大ぞうり

一月一六日、大久地区で大きな藁草履を作る行事「ジャクマンバン」(百万遍)を見学させていただきました。

伊方町には、二〇地区でこの大きな藁草履を作る行事が行われており、実に二六ヶ所、町内各地に点々と藁草履が置かれています。その中でも大久の草履は一点片方だけですが大きさ部門でトップクラス級なのです!

(確か二〇〇三年計測時は一二〇cm×八〇cmでした)

当日は地元の長松寺に朝七時から有志が集まって藁をそぐって打つ準備作業から開始。芯になるロープを支える台が作られていて、要領よく次々と太い藁縄が編まれました。こんな大きな草履を履く大男がいるんだぞと

見せて地区に悪い物が入らないようにという魔除けだそうです。

九時半くらいで大草履がよつやく出来上がる。集落の東端のタバとよばれる場所の通称ひっかけ水と呼ばれる小さな川のほとりの柿の木に吊るされました。あわせて長い注連縄が貼られ、そこに大男の弁当という藁スボ(中は俵型のおにぎりの二個)が二つ。またあらかじめ

保内の龍潭寺の和尚さんに書いてもらったトーバという木板を掲げて設置完了。お寺に戻るとご婦人の皆さんも集まって、一〇時から全員で大きな数珠を回しながらネンプツを唱えました。

この日の晩が各念仏組のモウシハジメといって今年最初のネンプツを唱える日となります。あの草履はただ大きいだけでなく、長年地域で培ってきた信仰の力たちなのでした。調査協力・大久地区のみなさん



平成23年度 人権作文から

障害を考える

伊方中学校 3年 加藤 俊哉



僕は、小学校から今までの間に様々な人権の問題について学習してきました。特に、今年のNさんの講演会で話を聞いて、今までの自分の考えがガラリと変わりました。

講演を行って下さったのは、視覚に障害があり、光すら感じる事ができないという全盲の方です。僕たち伊方中学校生徒のために宇和町から盲導犬といっしょに体育館に来られました。まず、Nさんの入場してくる時の姿を見て、小学校の時の体験を思い出しました。

僕は、小学校の時にアイマスクを付けて校舎を歩くという「ブラインドウォーク」をしました。僕が目隠しをし、もう一人が手を引いて校舎を歩く手伝いをしてくれましたが、一歩進むことすらとても怖くて、ビクビクしてなかなか進むことができませんでした。

特に、階段は、ゆつくりとしか進むことができませんでした。手を引いてくれている人がいても、目を閉じたまま歩くということとは、とても怖いということを感じました。相手を信頼することも大切ですし、転ばないように一歩一歩丁寧に歩くということも大切だと思います。いつも歩き慣れている校舎でさえ、目を閉じただけで歩きにくい場所となります。

小学校の時にブラインドウォークを体験した時の僕と違って、Nさんは、歩く時も堂々としていても驚きませんでした。パートナーである盲導犬や案内係の中学生を信頼していて、階段も目が見えているかのようにスタスタと歩いていました。僕は、目が見えないままで歩くことの大変さを体験を通して知っていたので、「視覚障害」の方々に對して、「目が見えないので、不安で外なんて歩くことができないだろうな。」「歩くことさえ不自由なのだから運動など、みんなと遊ぶこともできなくてつまらないだろうな。」と、決めつけていました。たった一度の体験から感じた正直な感想でしたが、偏見の目で見

ていたことに気づきました。Nさんは、気さくで、外にも出かけ、写真撮影も楽しんでおられます。また、ブラインドテニスというスポーツも楽しんでるそうです。目が不自由な人のためのスポーツには、ボールを転がして楽しむ競技がありますが、ブラインドテニスは、そうではありません。空中に浮かんでいるボールを打つ楽しみがあるようです。目が見えないままで音を頼りに空中のボールを打つのですから、かなり難しそうです。テニスの様子を映像で紹介して下さいましたが、とても上手にプレーしていました。「目が不自由な人はテニスを楽しむことができない」という自分の偏見にも気づきました。

また、道徳の時間に「風の旅人」という学習をしました。この話は、実話を基にして作られていました。愛媛県出身の方が旅をする様子を描いたものです。その人は、宇都宮さんという方ですが、手も足も不自由で寝たきりの生活をしていました。自分で歩くことも起き上がることもできません。ちょっとした衝撃でさえ骨が折れてしまうという難病を抱えていました。「そんな人が、どのように旅をするのだろうか。」と疑問に思いましたが、話が進むにつれてその方法がわかりました。それは、

「キャッチボール式歩行法」と言って、道行く人々に声をかけては自分が寝ている台車を押していったらというものです。その方法で、東京までも行くのですから驚きました。宇都宮さんは、とても元気が良く、親しみやすい人で様々な人が宇都宮さんの人柄に惹かれていきます。宇都宮さんは、初めは外に出ることさえいやがっていましたが、見知らぬ人に声をかけてどんどん旅をしていく勇氣はずいと思えました。

講演会に来て下さったNさんと「風の旅人」の主人公である宇都宮さんの生き方に共通することがあると思います。それは、「人とかがわり、助け合いながら生きていく。」ということ。二人の先生方から、そのことのすばらしさが伝わってきました。

このように、今まで障害を持った方々への接し方について、さまざまな勉強をしてきました。そこで僕が感じたことは、僕たちに個性があるように、障害を持った方々にもそれぞれに個性があるということです。僕は、これまでに障害を持たれた方々を「障害者」という一つのイメージでとらえて、勝手に「この人はこれくらいしかできない。」と決めつけていたところがあります。これからの僕たちは、障害に

ついでの正しい理解をするだけでなく、今、かわろうとしている人の個性を十分に理解して、助け合いながら生きていくことが大切だと思えました。

人権メッセージから

大切な命

二名津小学校 6年

山西 亮



先日、東北地方で大きな震災がありました。本当は生きたいけれど亡くなってしまった人がいます。今まで、あまり命というものを考えたことがありませんでしたが、今回の出来事をきっかけに真剣に考えるようになりました。今を生きているということは、とてもすごいことなのかもしれません。たくさんの人に支えられ、守られています。本当に感謝しなければなりません。これからは、自分の命と同じように他人の命も大切にしていきたいです。

広報
文芸

伊方俳句会

木枯しが雨戸を叩く深夜便

上田 益男

時流れ湊座壊るる冬の空

宇都宮 睦子

風もなくぼたぼたと雪重ね積

む 明神つた子

試歩の道春告鳥のそこかしこ

渡辺日出子

山峡は芸術の景雪が舞ふ

長野しず子

高波の狭間に浮かぶ百合鷗

二宮寿賀子

眼閉れば有し伴の面影を

上田 文男

春といふ名のみ庭に梅ひらく
篠川 勝子

寒の雨おしよろの祈り千の風
足利 敦子

町医者 of 玄関冬靴あふれけり
門田 千枝

待望の終えしリフォーム寒に
上田 幸香

入る 友逝きてむなしき日々や空つ
井上 良枝

風 強風や一気に飛び立つ寒雀
上田サチ子

節分会笑顔分け合ふ餅拾ひ
山崎 美喜

大寒や背中くすぐる聴診器
梶谷千代子

愛犬の吐く息煙る夜明哉
石井 義夫

久々の陽光まぶし百合鷗
松下 兼繁

太陽の暖かさ知る厳寒に
宇都宮 法子

貼り替へし障子に光る初日の
篠川 晴子

出 突然の句友の訃報春浅し
徳内 郁

きさらぎの寒さに耐へて春を
待つ 田村 智子

着ぶくれて詣る卒寿の気迫も
て 田中 初子

灯明は夫の温もり春を待つ
木戸 悦子

年初めいい湯いい膳同胞と
井上 幸子

洪柿や七十代は未だ少年
佐々木 煦

庭師来て今朝は落葉を掃かざ
りき 佐々木 禮子

便り待つ遠隔の子に芋送り
結城 励子

みかん摘むハサミ出番の最盛
期 佐々木サチ子

佐田岬木々は真白く雪気色
佐々木 忠雄

六地藏みなほほえみて雪の中
吉見 福子

ひっそりと春待つ草は野の陰
で 幸谷 幸子

難波から東北気遣い春立ちぬ
岡本 登

瀬戸句会

ふるさとの冬はいかがと反想
う 岡本あつ子

柚子風呂に五体伸ばして吾も
老い 福岡 博

子や孫はつつがなしきに春愁
北 英次

終わりまで見ることはなし春
の夢 北 翔子

婆たちが波しぶき浴びヒジキ
採り 浅井ミドリ

雪だるま寒さの中に笑ってる
加藤 慶子

起きがけに一氣に飲みし寒の
水 井上 奈津子

草も木も村も鎮めて寒の月
木枯に吹き残されし町静か
藤村 富士子

七草や昔を語る母元氣
伊藤 植美

あみだ句会

明け三日潮引く如く子等去り
て 西上ミツヨ

「あられだよ」メル友は曾孫一
年生 阿部ヨシ子

夫の里墓参の道の冬ぬくし
池上 松子

元日の御神酒ひとくち若返る
松本 光子

子や孫の顔が揃って初笑
宮部タミエ

おばあさんご苦労さまと女正
月 高月 仁

孫からの献花が並ぶ母の葬
玉里 宏子

一年を経れば八十路へ屠蘇を
酌む 木原 敬明

にこやかな遺影に両手を雪の
葬 池上 馨

生姜湯口にのこるや雪もよひ
池井 為吉

北斗の会

誤記訂正のお詫び

2月号表紙(写真の説明)及び2項2段目

(誤)……抱負を述べた阿部愛美さん

(正)……抱負を述べた阿部愛海さん